

三重県の水素エネルギーに関する取組について

1 みえ水素エネルギー社会研究会の活動

(1) 研究会の目的

水素は、将来の二次エネルギーの中心的役割を担うとともに、利用段階での温室効果ガスの排出がなく、非常時対応にも効果を発揮することが期待されている。

また、既に実用化段階にある定置用燃料電池や、今後の普及が期待されている燃料電池自動車や燃料電池コージェネレーションシステムなど、水素エネルギーを利用する製品の普及が進みつつある。

このような水素エネルギーを地域経済の活性化などまちづくりに結びつけ、新しいエネルギー社会の構築を図るために設置した。

(2) 研究会参加団体

国(経済産業省)、大学、市町、経済団体

(3) 開催実績

平成27年3月24日(火) 第1回研究会(キックオフ)

平成27年8月27日(木) 第2回研究会(とよたエコフルタウン視察)

平成27年11月21日(土) 第3回研究会(公開セミナー)

(4) 水素エネルギーに関する普及啓発活動

みえリーディング産業展 2015 において、水素ステーション模型とパネル等を展示

2 三重県庁公用車(燃料電池自動車 トヨタ MIRAI)について

(1) 燃料電池自動車 MIRAI 概要

販売開始日:平成26年12月15日(月)

メーカー希望小売価格:7,236,000円(消費税込)

定員:4人, 走行距離:約650km

(2) 三重県庁への導入

平成28年4月6日(水)、三重県内トヨタグループ9社より三重県庁に寄贈

(3) 寄贈を受けた燃料電池車(ミライ)の活用状況(平成28年4月6日~6月30日)

活用回数:20回, 走行距離:1847km

① サミット関連

伊勢志摩サミットフォーラム(4/16,津)、ジュニアサミット(4/22, 26,桑名)、伊勢志摩サミット IMC 開所式(5/22,伊勢) 等

② その他イベント等での活用状況

エネルギー政策連絡会議(市町職員対象)(4/27,津)、

スマートキャンパス国際シンポジウム(5/11,松阪)、

在パラオ日本国特命全権大使 田尻氏送迎(6/9,津)、

工業研究所成果発表会(6/9,津)

資源エネルギー庁新エネルギー対策課 呉村補佐視察(6/15,松阪) 等

③ 今後の活用予定

新エネビジョン推進会議(7/19,桑名)、夏のエコフェア(7/23-24,四日市)、

伊勢市環境フェア(10/9,伊勢)、認知症サミット(10/14-15,四日市・鈴鹿)、

リーディング産業展 2016(11/11-12,四日市)、みえ環境フェア(12/11,津)等

3 移動式水素ステーションについて

(1) みえ水素ステーション合同会社 概要

設立 平成27年7月、開業日 平成28年3月31日(木)

出資者 住友電装(株)(35%)、日本トランスシティ(株)(35%)、
三重トヨタ自動車(株)(15%)、谷口石油(株)(15%)

水素ステーションの場所 住友電装四日市物流センター内(四日市市松泉町2)
三重トヨタ本社展示場(津市垂水99番地の1)

水素の充填 ステーションの水素容器(カードル)で6台分。充填時間は3分。

(2) 水素ステーションへの県の支援

水素ステーションの普及啓発施設整備に補助

(必要経費700万円の内350万円補助)

* 三重県新エネルギー地域貢献施設事業費補助金(H27年度)

4 みえリーディング産業展2015(平成27年11月20日, 21日)での展示

(1) 燃料電池車の試乗・展示

三重トヨタ自動車(株)、東邦ガス(株)、日本エア・リキード(株)から提供いただいた燃料電池車1台展示、2台で試乗。81名が運転し、145名が試乗。

(2) 水素ゾーン

みえ水素エネルギー社会研究会、中部FCV協議会による普及啓発展示

みえ水素ステーション合同会社(移動式水素ステーション、燃料電池車パネル)

(株)東芝(自立型水素エネルギー供給システム「H₂One」)



燃料電池自動車 MIRAI 贈呈式



みえ水素ステーション四日市